

シーズン中のマテリアルについて（2013～2014）

	種目	男女	国内 COC・ FIS	SAJ A・B級	B級大会参加 のチルドレン 選手	インターハイ 出場の早生 まれの選手	国体 成年選手	国体少年の 早生まれの 選手	K1(U14) 選手	K2(U16) 選手		
スキー長 (最短長) スキー長 許容差±1	DH	女子	210	210								
		男子	218	218								
	SG	女子	205	205	年齢カテ ゴリーの 用具で可	年齢カテ ゴリーの 用具で可	X		年齢カテ ゴリーの 用具で可	体格、体力、 技能に適応し た スキー	175	
		男子	210	210								
	GS	女子	188	188						188	130	130
		男子	195	195						195		
	SL	女子	155	155						X	130	130
		男子	165	165								

※DH,SG,GSは、許容差-5cm適用値(COCは除く)

ラディウス (最小値)	DH	女子	50	50						
		男子	50	50						
	SG	女子	40	40	年齢カテ ゴリーの 用具で可	年齢カテ ゴリーの 用具で可	X	年齢カテ ゴリーの 用具で可	体格、体力、 技能に適応し た スキー	27
		男子	45	45						
	GS	女子	30	30			30		14	17
		男子	35	35			35			

スキー高		男女 共通	50	50	50	50	50	50	50	50
------	--	----------	----	----	----	----	----	----	----	----

ブーツ高		男女 共通	43	43	43	43	43	43	43	43
------	--	----------	----	----	----	----	----	----	----	----

※スキー高は、スキー+プレート+ビンディングの合計値

※年齢カテゴリーの用具で可は、最小値の意味

※全てのハード及びソフトパーツを含むヒールの底部からスキーブーツソールまでの間隔